

■ 新着図書のご紹介

国見図書館

「硫黄島玉砕戦 生還者たちが語る真実」

NHK取材班

NHKで同書と同名の番組が放映され、クリント・イーストウッド監督が日米双方の視点から描いた2つの映画を製作し、栗林忠道中將に関する本が出版され、近年、「硫黄島」がクローズアップされている。

東京から船で約3日かかるその島は、太平洋戦争最大の激戦地であるが、戦後、多くが語られることは無かった。

本書は日米双方の硫黄島戦・生還者の証言が綴られている。島での苦しみ、戦後の苦しみ、そして硫黄島での真実を世の中に伝えること…これらは生還者たちに共通する思いである。私達がどこまで彼らの思いを受け止めることができるのか？ 自分次第である。

くにさき図書館

「始末な暮らし」

阿部絢子(著)

なかなか片付けられなくてすっきりしない、そう思っている人は多いのではないのでしょうか。そんな人におすすめなのが、この本です。

ページを開くと「本当に使っている鍋はいくつある?」「女性は、平均214枚の服を持っている」「紙袋・紐・リボンは溜めても意味がない」とちょっとドキッとするような見出しが並んでいます。

食生活ではヨーロッパでの体験を、衣生活では始末の基準を、住生活では環境を考えながら、最後には人生の最終章に向けての始末を考えます。

「次を楽しむために、あと始末はある」と考える著者が自身の人生と重ねながら暮らしを始末する方法を提案してくれる一冊です。

武蔵図書館

「こんにちは♪さようならのまど」

ノートン・ジャスター(文)

わたしはときどき、おばあちゃんとおじいちゃんの家に行く。それはパパとママがお仕事のとき。

おじいちゃんとおばあちゃんの家のお台所にあるまどは、わたしにとっては特別なまど。ここでいつも「こんにちは」のあいさつをするの。この魔法のまどから見える、ハーモニカをふいてくれるゆかいなおじいちゃんと、いつもやさしいおばあちゃん。おばあちゃんが言った。このまどは、「会いたいと思っていた人が本当にやってくるまどよ。」といったけれど、会いにきてくれるのかしら…。

この絵本は、おじいちゃんとおばあちゃんとのふれあいをえがいており、心が温くなるおすすめの本です。ぜひお楽しみください。

安岐図書館

「ゴッホとひまわりの少年」

ローレンス・アンホルト(作)

アルルの町に住む少年カミーユは、ちょっと変わった絵描きのおじさんに出会います。カミーユはおじさんの絵が大好きになります。ゴッホの友人であった郵便夫の一家に実在した少年と、ゴッホの触れ合いを描いた絵本です。「ひまわり」など8点の名画をモチーフに、ゴッホの世界を紹介しています。

今でこそ人々に愛されているゴッホの絵ですが、生きていた間はほとんど理解されることがなかったそうです。短い中にも、ゴッホがどんな人だったのかわかるように描かれているこの絵本は、小学校のよみかきせにもなかなか好評な模様。その後、同じシリーズで、モネやレオナルド・ダ・ヴィンチの本も出ているようなので、図書館ではこちらも購入する予定にしています。

※詳しい新着情報は、20日以降に回覧される図書館報「どくいち」をご覧ください。



図書館 だより

開館時間 午前10時～午後6時

図書館カレンダー 11月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

■は休館日

30日(金)は、資料整理のため休館です。

問い合わせ

国見図書館	☎0978-82-1585
くにさき図書館	☎0978-72-3500
武蔵図書館	☎0978-69-0946
安岐図書館	☎0978-67-3551

■ 図書館行事のご案内

◆国見図書館

おはなしひろば

17日(土) 午前9時30分～

24日(土) 午前9時30分～

竹田津改善センター

◆くにさき図書館

おはなし会

11日(日) 午前10時30分～

24日(土) 午後2時～

◆武蔵図書館

おはなしのへや

7日(水) 午後3時30分～

21日(水) 午後3時30分～

移動図書館

15日(木) 午後1時30分～2時
吉広地区

22日(木) 午後1時～1時30分
武蔵西小学校

図書館祭り

23日(金) 午前9時～午後4時

◆安岐図書館

ひまわりの部屋(おはなし会)

10日(土) 午前10時30分～